

平成30年度

坂町教育委員会事務点検・評価報告書

坂町教育委員会

## 目 次

教育委員会の点検・評価制度の概要	1
評価委員の点検・評価	2
教育委員会の活動状況及び活動概要	7
点検評価の結果	
○道徳心の高揚	12
○豊かな心の育成	13
○確かな学力の育成	14
○生徒指導体制の確立	16
○健やかな体の育成	17
○地域文化の保存、継承	18
○生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実	19
○生涯スポーツの推進	20
○生涯学習施設の有効活用	22
平成30年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書一覧	23

## 教育委員会の点検・評価制度の概要

### 1 点検評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は平成20年4月から毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に報告するとともに、公表することが義務付けられました。

この報告書は、同法の規定に基づき、坂町教育委員会が行った点検評価の結果をまとめたものです。

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

**第26条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 対象年度

平成30年度

### 3 点検評価の対象事業

点検・評価の対象は、坂町第4次長期総合計画に基づく中期経営目標のもと、それに対応する教育行政方針を短期経営目標とした10事業について点検実施しました。

### 4 点検評価の方法

点検評価にあたっては、評価指標等を設定し、次のとおり4段階の評価としました。

区分	内容
A	目標は十分達成された。
B	目標は達成された。
C	目標は達成できなかった。
D	目標は全く達成できなかった。

## 5. 評価委員(広島大学大学院教育学研究科 林 孝 特任教授)の点検・評価

平成 22 年度から、坂町第 4 次長期総合計画に基づく中期経営目標のもと、それに対応する教育行政方針を短期経営目標として設定してきている。平成 30 年度も、教育委員会事務点検・評価の重点化が図られ、数値目標に基づく量的な指標による評価が徹底されている。その充実した点検評価に対する昨年度の指摘に応じて、中期経営目標と短期経営目標の対応の明確化を図り、また、前年の実績値に基づく目標値ではなく坂町がめざすべく設定した目標値とするなど、点検・評価の結果が改善策に反映されるよう工夫されている。

そのような事務局の自己点検評価の工夫に応じて、平成 30 年度における評価委員による点検・評価では、重要施策の 10 事業を中期経営目標・短期経営目標に対応して 9 視点からコメントしていきたい。ここで考慮しておきたいことは、坂町では西日本豪雨（平成 30 年 7 月 6 日（金））を境として日常が一変したことである。西日本豪雨の前・後での取組と施策展開はどのように行われ、その成果はどのように捉えられるのか、さらに、翌年度に向けての改善策は西日本豪雨の被害への対応を踏まえた有効なものと考えられるのか、といった視座についても配慮しておきたい。なお、昨年度と同様、「教育委員会事務自己点検・評価」の評価結果の妥当性及び改善策の有効性について、次のような評価指標を用いて、コメントに対する評価委員としての段階評価を実施することとした。

区分	内 容	
	評価の妥当性	改善策の有効性
A	評価は極めて妥当である。	改善策は極めて有効と考えられる。
B	評価は妥当である。	改善策は有効と考えられる。
C	評価は妥当とはいえない。	改善策は有効と考えられない。
D	評価は全く妥当といえない。	改善策は全く有効と考えられない。

### (1) 「道徳心の高揚：『礼節』を基本とした教育の推進」について

ここでは、昨年度に引き続き 3 項目の平均値で評価している。調査時期は 6 月・2 月で実施している。平成 30 年度においても実績値は目標値を上回り、評価結果は「目標は十分達成された」である。小学校・中学校ともに 6 月・2 月時点での割合は、小学校での「時と場をわきまえ行動している」を除き、目標値を上回る。2 月時点での自己評価は 1 年間の継続した取組のなかで一般的には厳しくなる傾向があるなかで、中学生の肯定的回答が増加している。報道されたように西日本豪雨でのボランティア活動など、中学生の活躍の様子が窺えるのではないだろうか。そうであるなら、坂町における道徳教育推進のこれまでの成果を再検討するなかで、改善策に示された「相互の信頼関係」「相互交流の場」については、児童生徒を主人公とした坂町独自の有効な手立ての特定・集中すべき取組について取り組んでほしい。以上の点から評価結果の妥当性は「B」、

改善策の有効性は「B」と評価できる。

(2) 「豊かな心の育成：家族愛・郷土愛の醸成」について

ここでは、「主体的な学びアンケート」の結果から「総合的な学習の時間では自分で課題を立て解決法を考え発表している」の肯定的回答割合を評価指標としている。肯定的回答割合は目標値を上回る。評価結果は「目標は十分達成された」である。評価結果の妥当性については「B」と指摘できる。もっとも、総合的な学習の時間では郷土・坂町をテーマに取り組んでいるものの、「自分で課題を立て解決法を考え」ることが「家族愛・郷土愛の醸成」にどのように有効と考えられるのか、その道筋が重要となろう。学校における取組とともに、坂町道徳教育推進協議会を主体とする小・中連携を意図した教職員研修の充実や「地域に開かれた教育課程」をはじめ「文化活動の振興」「生涯学習・スポーツの振興」との連携協働した施策の展開、とりわけ「人権教育総合推進地域事業」(国)の指定を活用する改善策には大いに期待したい。西日本豪雨の被害を自分事として捉えることのできる今こそ、家庭や地域を巻き込み、町をあげての取組となるよう期待したい。その点で、改善策に示された施策に期待するところであり、改善策の有効性については「A」と評価できる。

(3) 「確かな学力：基礎的・基本的な知識・技能の定着」について

ここでは、「全国学力・学習状況調査(中3・小6)」「H30 坂町標準学力調査(中2・小5)」「外国語活動・外国語科児童生徒の意識調査」を評価指標として、「目標は達成された」である。中学校では目標値に達しない教科も多いものの、児童生徒の成績結果は昨年度に引き続きすぐれた結果と考えられるとともに、「将来、外国語を使ってみたい」の肯定的回答割合に注目すると6月に比して2月の数値が増加しており、この評価結果の妥当性については「B」ということができる。この評価結果を受けての改善策の有効性は「B」と評価したい。とりわけ、「人的措置による」支援を明言するなど、大いに期待したい。なお、「確かな学力」を身に付ける主人公が児童生徒であることを尊重した改善策となるよう支援の在り方を提案し、それに係る財政的な裏付けを確保できるように、首長部局により一層積極的にアピールしていただきたい。

(4) 「生徒指導体制の確立：積極的生徒指導の充実」について

ここでは、「目標は達成された」の自己評価結果である。いじめ問題の未解決件数が昨年度に引き続き0件であることは評価できる。不登校の児童生徒数の増加も抑えられて、生徒指導の三機能を生かした予防的積極的な生徒指導の取組の成果が窺え、評価結果の妥当性については「B」ということができる。改善策については、引き続き教育委員会としてどのような施策として展開しようとするのか、その「見える化」に努めていただきたい。その点で、「いじめ・不登

校対策の充実」における改善策には具体的な施策が窺え、改善策の有効性は「B」と評価できる。

(5) 「健やかな体の育成：体力・運動能力の向上」について

ここでは、「広島県新体力テスト調査」結果（小5男女・中2男女）を評価指標として、「目標は達成された」の自己評価結果である。この評価結果の妥当性は「B」と考えられる。なお、その評価指標は年度によって特定される可能性が小さくない。したがって、年度対象児童生徒に特有の傾向ではなく、体力・運動能力向上の取組施策の反映された成果であるのか検証を積み重ねていただきたい。この評価結果を受けての改善策の有効性は「B」と評価したい。とりわけ、「体力向上推進リーダー」の人的措置を含め、大いに期待したい。

(6) 「地域文化の保存、継承：坂町の歴史や文化に対する理解と関心の醸成」について

総合評価は行わないものとするとして、「評価できない（災害の影響による）」であり、評価結果の妥当性は判断することができない（「—」）。町民の「関心・意欲に関するアンケート調査」結果によるアウトカムが得られない状況はやむをえないところであるが、西日本豪雨災害の前・後での取組を峻別して、かつ、取組状況をアウトプットとして困難な状況のなかでも取り組めたことを評価し、次に生かせることを見出せたのではないかと推察するところである。また、改善策の有効性は「B」と評価できる。今後も、町史を財産として、学校教育・生涯学習に活用するとともに、生涯学習においては、坂町内外にアピールするよう、「郷土芸能文化財の保存・継承に対する支援」「伝承文化に触れる機会の提供」そして「社会科副読本による坂町に関する教育の実施」などの取組と結んで首長部局と連携して進め、今後の事業展開を大いに期待したい。

(7) 「生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実：図書館サービスの向上」について

総合評価は「評価できない（災害の影響による）」である。しかし、「図書等貸出冊数」を評価指標としており、豪雨災害等による休館期間を除いて目標値と実績値を検討することや、災害の前・後での貸出冊数の推移を検討することなどにも、今後に取り組んでいただき、図書館サービスの在り方について検討することを期待したい。なお、昨年度も指摘したところであるが、図書館の活動が図書館に留まるのではなく、「学習機会の提供」における「講座内容」と連携して図書館情報を提供するなど、生涯学習者へのサービスも引き続き検討され、学校図書館とのネットワーク化を推進して「学校教育」において重点的に取り組んでいる「道徳心の高揚」や「国際理解教育の推進」の事業と連携して展開していく視点からの点検評価についても進めていただきたい。おって、

改善策の有効性は「B」と評価できる。

(8) 「生涯スポーツの推進：生涯スポーツ社会の実現」について

ここでは、評価指標を「各種事業への参加者を対象としたアンケート調査」とした取組・方策の総合評価は「一（災害の影響による）」であり、「『坂町悠々健康ウォーキング大会』参加人数」では目標値を下回り「目標は達成できなかった」である。しかしながら、アンケートは実施できなかったものの、災害の影響で注視せざるを得なかった取組等を除き、町民がスポーツ活動を楽しめる場や機会の充実を図る取組・方策を計画的・定期的に行っていることも含め、取組状況は評価できることを指摘し、評価結果の妥当性については「一」としたい。また、西日本豪雨の被害のなか、町民を勇気づける取組に取り組んだ経験を生かし、改善策の推進により、今後も事業充実に努めて生涯スポーツの推進の施策が、坂町の保健・医療・福祉など、他部局とも結びつけて展開されることを期待し、改善策の有効性は「B」と評価したい。

(9) 「生涯学習施設の有効活用：町民交流センターの活用促進」について

ここでは、評価指標とした施設利用人数は目標値に対して、「災害の影響による」として「評価できない」である。しかしながら、町民交流センターが「スポーツ・文化活動の交流拠点」としてのみ捉えられるのではなく災害の影響への対応に果たした役割や、避難所としての運営や掃除等の貸出準備期間、1階の会議室等の使用不可の日数等の影響を加味して検討すべきではないか。例えば、使用できなかった日数は約3ヶ月であり、目標値の4分の3の施設利用人数を上回れば「目標は達成された」と捉えることができるのではないか。そう考えると、「評価できない」という総合評価の結果に対する妥当性は「C」と指摘しておきたい。一方、改善策の有効性は「B」と評価できる。とりわけ、西日本豪雨の被害を受けて避難所としての運用を終えた後の「復興」を冠した取組など町民に親しまれ広く活用される施設として有効活用されたと考えられ、地域に密着した開かれたホールを目指した取組や坂町内外への情報発信という地道に取り組まれたことが生かされ、町民交流センターが坂町の生涯学習推進のシンボルとなるよう、その利用にかかる施策や取組に一層期待したい。

以上、各項目に即して点検評価の結果に基づいて意見を述べた。最後に、報告書全般に関わって意見を述べ、今後期待したい点について指摘したい。

坂町における「教育委員会事務自己点検・評価」は充実した自己点検評価が継続されるなかで、さらなる発展が期待される時機を迎えた。そのためには、昨年度も指摘した「坂町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年2月策定)」を受けて坂町行政の今後の展望に即することが必要とされるとともに、平成30年度の西日本豪雨災害を受けて気づかされたであろう坂町に住もう・憩う・働く

人々の大切にしてきた価値に注目して優先順位をもって取り組むことが重要とされる。そのようなことを踏まえて、点検評価の結果が、町民における学校教育・生涯学習の充実に向けて、町民と「ともに」より一層の改革・改善につながるための工夫に引き続き尽力していただきたい。

そのため、これまでも指摘してきたように、第一に、成果指標（アウトカム）としての視点から評価に至ったエビデンス（証拠）に掲げる数値目標の設定についても点検と精緻化を図っていただきたい。勿論、数値目標に馴染まない目標もある。量的に示された数値目標を補って、質的にどのように変容したのかを分析し、事業の目標に対して有効な施策であったかの検証を引き続き期待したい。第二に、教育委員会の事業が町の他部局の事業とどのように関連性をもって展開できるかについて検討し、町民の学校教育・生涯学習の推進に寄与できるか、引き続き、取組・方策の充実を努めていただきたい。その際に大切にいただきたいことは、それらの事業実施にあたっては、町民を単なる「お客さん」に位置づけることなく、「主人公」である町民と「ともに」ある事業実施となることを常に意識することである。

最後に、説得力のある自己点検評価報告書が、坂町住民の共有財産となるよう、次の点には引き続き期待をしたい。第一に、坂町独自の特色をもつ事業施策について点検評価して町民に積極的に情報発信し、町民が主人公となる事業施策であることをアピールして欲しい。第二に、学校教育の充実について、設置者としての事業展開が学校現場による真摯な取組を通じて実現できることを踏まえ、設置者の視点を明確にした具体的な支援策をもって学校現場の支援の充実により一層努めて欲しい。

坂町教育委員会事務局には、そのような期待に応えていただき、首長部局に対して財政的な裏付けを確保して、教育委員会の事業展開におけるPDCAサイクルを実働させ、学校教育・生涯学習の主人公である学習者の支援に、また、その学びを支える教員をはじめとする指導・支援者の支援に、今後も引き続き努められることを一層期待したい。

評価委員

広島大学大学院教育学研究科  
特任教授 林 孝



## 教育委員会の活動状況及び活動概要

### 1 教育委員会の活動状況

#### (1) 教育委員会委員

本町教育委員会は、町長が町議会の同意を得て任命した教育長及び4名の教育委員により構成されています。平成31年3月31日現在の教育委員は、次のとおりです。

教育委員の区分	性別	内 訳
教育長	男	元行政関係者
教育長職務代理者	男	元教育関係者
委員	男	自営業
委員	女	自営業
委員	女	保護者

#### (2) 教育委員会会議の開催状況

定例会 13回

#### (3) 教育委員会会議での審議状況

議決の状況（平成30年度 議案12件）

議案番号	議案名	議決日
7	平成30年度教職員研修の方針について	4月17日
8	坂町社会教育委員の委嘱について	4月17日
9	平成29年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書について	5月17日
10	平成30年度坂町教育委員会経営計画、平成30年度坂町教育委員会自己評価表について	5月17日
11	平成31年度使用小・中学校教科用図書採択基本方針について	5月17日
12	平成31年度使用小学校用教科用図書採択について	8月21日
13	平成31年度使用中学校用「特別な教科 道徳」の教科書採択について	8月21日
14	平成31年度使用特別支援学級の教科書採択について	8月21日
1	平成31年度坂町教育行政方針について	2月12日
2	「運動部活動の方針」の策定について	2月12日
3	平成31年度教職員人事について	3月18日
4	坂町社会教育委員の委嘱について	3月18日

## 2 教育委員会活動の概要

### (1) 各種会議への出席

会議名	出席者	月/日	場所
第60回全国市町村教育長会定期総会並びに研究大会	教育長	5/10～5/11	東京都
第1回西部教育事務所管内教育長、部・課長等会議	教育長	5/14	呉市
第1回安芸郡教科用図書採択地区協議会	教育長 教育委員	5/21	府中町
広島県町教育長定期総会	教育長	5/25	広島市
広島県市町教育委員会連合会定期総会	教育長	5/29	広島市
中国五県町村教育長研究大会（岡山大会）	教育長	8/23～8/24	岡山市
平成30年度広島県市町教育委員会教育委員研修会	教育委員	10/23	広島市
広島県女性教育委員グループ総会並びに第2回研修会	教育委員	11/2	江田島市
平成30年度広島県町教育長研修会	教育長	11/2	神石高原町
「学びの変革」に係る先進地視察研修	教育長	11/28～ 11/29	東京都
安芸郡教育長・小学校長合同研修会	教育長	1/11	広島市
学校における働き方改革フォーラム	教育長	2/14	広島市
広島県女性教育委員グループ第3回研修会	教育委員	3/6	広島市

### (2) 議案以外の報告・協議状況

月 日	定例会における報告・協議内容
4月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育長あいさつについて</li> <li>○ 平成30年度第1回広島県市町教育長会議について</li> <li>○ 坂町教育委員会事務局事務分掌について</li> <li>○ 平成29年度坂町教育委員会事務点検・評価報告書について</li> <li>○ 平成30年度坂町教育委員会経営計画（案）、平成30年度坂町教育委員会自己評価表（案）について</li> <li>○ 主任の命課について</li> <li>○ 青少年育成坂町民会議総会及びあいさつ推進パレードについて</li> <li>○ 広島県女性教育委員グループ 平成30年度総会・第1回研修会について</li> <li>○ 図書館こどもまつりについて</li> </ul>
5月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 西部教育事務所管内教育長、部・課長等会議について</li> <li>○ 全国町村教育長会 定期総会・研究大会について</li> <li>○ 学校選択制について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成30年度教育行政方針概念図（学校教育・生涯学習）について</li> <li>○ 小学校運動会等について</li> </ul>
6月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 議会全員協議会（6月1日）について</li> <li>○ 6月議会定例会について</li> <li>○ 第60回広島県町教育長会定期総会（5月25日）について</li> <li>○ 広島縣市町教育委員会連合会定期総会（5月29日）について</li> <li>○ 「わたしたちの坂町」について</li> <li>○ 総合教育会議について</li> <li>○ 小学校修学旅行について</li> <li>○ 坂中学校防災学習の実施について</li> <li>○ ようよう・ワーク・ウイーク（坂中職場体験学習）について</li> <li>○ 平成30年度平和音楽祭について</li> </ul>
7月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大阪北部地震に係る学校の対応等について</li> <li>○ 国際交流事業（海外研修）について</li> <li>○ 豪雨災害に係る学校の状況について</li> <li>○ 留守家庭児童会の運営等について</li> <li>○ 第3回坂町教育フォーラムについて</li> <li>○ グローバルキャンプについて</li> </ul>
8月21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害に係る復旧状況等の報告</li> <li>○ 国際交流事業について</li> <li>○ 全国学力調査について</li> <li>○ 中体連主催大会、吹奏楽コンクール等の結果について</li> <li>○ 坂中学校の体育祭について</li> </ul>
9月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害に係る復旧・復興等について</li> <li>○ 9月議会定例会について</li> <li>○ 全国学力・学習状況調査及び広島県「基礎・基本」質問紙調査の結果（分析）について</li> <li>○ 広島市市町教育委員研修会について</li> <li>○ 坂町就学时健康診断について</li> <li>○ 教職員の視察研修について</li> <li>○ 町立小学校体育記録会等について</li> <li>○ 広島ベイマラソン大会、町内体育大会等について</li> </ul>
10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害に係る復旧・復興状況について</li> <li>○ 平成30年度坂町教育委員会経営計画の中間報告について</li> <li>○ 議会全員協議会（10月5日）について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校へ行こう週間について</li> <li>○ その他関係する行事について</li> <li>○ 公立小中学校職員定数等活用状況調査について</li> <li>○ 第49回ジュニアオリンピック陸上競技大会について</li> </ul>
11月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島県町教育長会研修会について</li> <li>○ 平成31年度坂町教育行政方針及び坂町教育委員会経営計画について</li> <li>○ 教育委員研修会(10月23日)、女性教育委員研修会(11月2日)の報告</li> <li>○ 教育を考える会、総合教育会議について</li> <li>○ 坂町小中連携教育研究大会について</li> <li>○ 小中連携等に係る先進地視察研修について</li> <li>○ その他行事について</li> </ul>
12月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島県人事異動方針について</li> <li>○ 12月議会定例会について</li> <li>○ 平成31年度坂町教育行政方針及び坂町教育委員会経営計画について</li> <li>○ 小中連携等に係る先進地視察研修について</li> <li>○ 運動部活動の方針(案)について</li> <li>○ 総合教育会議、坂町の教育を考える会、一水会について</li> <li>○ 平成31年度 坂町成人式、ウォーキング大会等について</li> </ul>
1月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1回坂町の教育を考える会(12月21日)について</li> <li>○ 平成31年度坂町教育行政方針について</li> <li>○ 平成30年度全国体力・運動能力、運動習慣等の調査の結果について</li> <li>○ 「運動部活動方針」の策定について</li> <li>○ 教育支援委員会の意見具申について</li> <li>○ 平成31年成人式について</li> <li>○ 都道府県駅伝について</li> </ul>
2月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第11回B&amp;G全国サミットについて</li> <li>○ インフルエンザの状況について</li> <li>○ 卒業式について</li> <li>○ 選抜I(公立学校推薦入試)の状況について</li> <li>○ ウォーキング大会、ピアノコンサート、その他行事について</li> </ul>
3月12日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平成31年度教育に関する「大綱」及び教育行政方針について</li> <li>○ 平成31年度人事異動について</li> <li>○ 3月議会定例会について</li> <li>○ 坂町留守家庭児童会について</li> <li>○ 坂町教育委員の任命の同意について</li> <li>○ 女性教育委員グループ第3回研修会について</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年度末、年度初めの行事等の予定について</li> <li>○ 第4回坂町教育委員会会議について</li> </ul>
3月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第2回坂町の教育を考える会（3月13日実施）について</li> <li>○ 辞令伝達式について</li> <li>○ 平成31年度第1回坂町教育フォーラムについて</li> <li>○ ウォーキング大会等について</li> </ul>

(3) 教育委員の学校等訪問

訪問日	訪問先	内 容
6月22日	小屋浦小学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校長による学校経営方針について</li> <li>○ 授業参観及び意見交換</li> </ul>
11月20日	坂中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校長による学校経営方針について</li> <li>○ 授業参観及び意見交換</li> </ul>

(4) 教育委員の社会教育施設等訪問

訪問日	訪問先	内 容
12月18日	北新地グラウンド 坂町 B&G 海洋センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設見学</li> <li>○ 意見交換</li> </ul>

## 平成30年度 点検評価票

中期経営目標	道徳心の高揚
短期経営目標	「礼節」を基本とした教育の推進

### 1 短期経営目標（具体）

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うとともに、「考え、議論する道徳」授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育成する。

### 2 取組・方策

#### (1) 坂町道徳教育推進協議会の開催（年間7回）

答えが一つではない道徳的な課題を児童生徒一人一人が自分自身の問題と捉え、「考える・議論する道徳」への授業改善を図った。

#### (2) 児童生徒意識調査（年間2回）

時と場に応じた挨拶や言葉遣いのできる「礼儀」や立場をわきまえ、よく考えて行動する「節度」を育成するため、道徳教育に関する児童生徒意識調査を実施した。

### 3 評価

評価指標	道徳教育に関する児童生徒意識調査（3項目）
目標値 （平成30年度）	90.0%（小学校）90.0%（中学校）
総合評価	B

○肯定的回答した児童生徒の割合 3項目平均 92.4%（小学校）、96.0%（中学校）

意識調査	道徳の時間では、他の人の考えを聞きながら、自分のことについて考える		人が困っている時、進んで助ける		時と場をわきまえ行動している	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
調査時期	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
6月	92.0	96.4	94.9	95.5	90.6	94.4
2月	90.9	94.9	92.7	98.5	87.4	94.6

※ 小中学校とも目標値を上回った。

### 4 改善策

○引き続き、「礼節」を基本とした教育を推進し、発達段階を踏まえた丁寧な指導と教職員と児童生徒間、児童生徒相互の信頼関係を構築し、繰り返し実践する。

○学校・家庭・地域社会との連携・協力を大切にするとともに、「坂町礼節週間」「道徳参観日」を積極的に情報発信し、相互交流の場を設定する。

## 平成30年度 点検評価票

中期経営目標	豊かな心の育成
短期経営目標	家族愛・郷土愛の醸成

### 1 短期経営目標（具体）

家族を愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築き、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努める態度を育成する。

### 2 取組・方策

#### (1) 坂町道徳教育推進協議会の開催（年間7回）

道徳科の授業を公開したり、授業実施及び地域教材の開発・活用などに家庭や地域の人々の参加や協力を得るなど、家庭や地域との共通理解を深めた授業の工夫に努めた。

#### (2) 主体的な学びアンケート（年間2回）

児童生徒を対象とした意識調査を実施した。

#### (3) 地域に開かれた教育課程

地域の人的・物的資源を活用したり、社会教育との連携を図ったりしながら、学校教育を学校内外で、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現した。

#### (4) 主体的な地域行事への参加

児童生徒が主体的に地域行事の参加することで、家族愛、郷土愛の醸成を図った。

### 3 評価

評価指標	「主体的な学びアンケート」における質問項目で肯定的な回答の割合
目標値 (平成30年度)	85.0% (小学校)、85.0% (中学校)
総合評価	B

○肯定的に回答した児童・生徒の割合　　《調査対象：小3～中3》

意識調査	総合的な学習の時間では自分で課題を立て解決法を考えて発表している	
調査時期	小学校	中学校
2月	91.2	92.4

※ 小中学校とも目標値を上回った。

### 4 改善策

○坂町道徳教育推進協議会の充実化を図り、坂町の道徳教育を推進する。

○「人権教育総合推進地域事業」(国)の指定を活用し、「よりよい郷土の創造(防災教育・町づくり)」をテーマに研究を深め、家族愛・郷土愛を醸成する。

○主体的に家族の一員として働く体験や地域行事へ参加する機会を仕組むなど、体験的な学習を適切に取り入れる指導方法を工夫する。

平成30年度 点検評価票

中期経営目標	確かな学力の育成
短期経営目標	基礎的・基本的な知識・技能の定着

1 短期経営目標（具体）

基礎・基本的な知識や技能の定着を図り、加えて学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力を育成する。

2 取組・方策

- (1) 「学びの礎7」(時間を守る・整理整頓・掃除・挨拶・返事・発言・姿勢)  
「坂町授業システム」基準とした授業展開を計画した。
- (2) 坂町教育フォーラムの開催(年間2回)  
町内全教員に、坂町教育の方針・方向性を共有し、坂町教育を創造した。
- (3) 積極的な授業改善  
自校の調査結果を分析、共有し、共通課題をもって積極的な授業改善を行った。
- ①H30 全国学力・学習状況調査(4月17日実施、小6:国・算・理、中3:国・数・理)  
②H30 坂町標準学力調査(小1から中3まで全児童生徒)  
③外国語活動・外国語科児童生徒の意識調査(肯定的に回答した児童・生徒の割合)

3 評価

評価指標	全国学力・学習状況調査(中3・小6)、H30 坂町標準学力調査(中2・小5)、外国語活動・外国語科の児童生徒の意識調査
目標値 (平成30年度)	○全国学力・学習状況調査の全教科で、全国平均を5ポイント以上とする。 ○坂町標準学力調査の全教科で、目標値以上とする。(小5・中2) ○外国語活動・外国語科児童生徒の意識調査(小:83.0%、中:80.0)
総合評価	B

<平成30年度全国学力・学習状況調査 H30.4.17実施> ※( )は全国県平均との比較

学年	国語A	国語B	算数・数学A	算数・数学B	理科
小学校6年	78 (+7)	64 (+9)	71 (+7)	58 (+6)	70(+10)
中学校3年	79 (+3)	62 (+1)	65 (-1)	47 (+0)	71 (+5)

※ 小学校は、全教科で目標値以上であった。中学校は、理科のみが目標値以上であった。

<坂町標準学力調査> 全教科で目標値以上とする。

学年	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学校5年	79.3 (+9.8)		73.1 (+5.7)	76.9 (+7.2)	
中学校2年	69.1 (+5.3)	52.7 (-1.2)	41.0(-4.0)	56.9 (-2.7)	50.5(-4.6)

※ 小学校は、全教科で目標値以上であった。中学校は、国語のみが目標値以上であった。

<外国語活動・外国語科児童生徒の意識調査>

肯定的回答した児童生徒の割合 3項目の平均 87.9%(小学校) 81.5%(中学校)

意識調査	授業へ進んで参加	学びが役に立つ	授業がよく分かる	将来、外国語を使ってみたい
調査時期	小学校	中学校	小学校	中学校
6月	92.3	83.7	88.7	84.6
2月	89.9	83.8	87.5	82.3

※ 児童生徒の肯定的な回答は、目標値を上回った。



#### 4 改善策

- 保幼小中連携を密に行い、円滑な接続から個に応じたきめ細かな指導（個別指導、繰り返し指導等）に努め、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
- 『育ちと学びをつなぐ』幼保小連携教育の推進事業（県）を活用し、町内の小学校と保育園、こども園との連携を密に行い、円滑な接続から個に応じたきめ細かな指導に努め、低学年からの基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせる。
- 小学校では、人的措置による習熟度別指導等を効果的に活用し、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。
- 中学校では、生徒の基礎学力を保障するための課題を丁寧に把握し、個に応じたきめ細かな指導を組織的に行う。場合によっては、人的措置による支援を検討する。

## 平成30年度 点検評価票

中期経営目標	生徒指導体制の確立
短期経営目標	積極的生徒指導の充実

### 1 短期経営目標（具体）

一人一人の児童生徒の健全な成長を促し、児童生徒自ら現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力を育成する。

### 2 取組・方策（具体）

#### (1) 坂町生徒指導連絡協議会（年間10回）

各小中学校の生徒指導主事を対象に、理論研修、授業観察、実態交流等を行い、生徒指導方針を共通理解するとともに、指導力の向上を図り、生徒指導体制の機能化に努めた。

#### (2) 児童生徒の欠席状況調査（月1回）

町内の児童生徒の欠席状況を把握し、欠席日数が多い児童生徒に対して、早期対応を行うことにより未然防止に努めた。

#### (3) いじめアンケートの実施（年3回／6月、11月、2月）

いじめアンケートを児童生徒及び保護者に実施し、いじめの早期発見、早期対応に努めるとともに教育相談の充実を図った。

#### (4) 教育相談による支援活動の充実

スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、学校教職員、教育委員会事務局職員による教育相談を適宜実施し、児童生徒、保護者の教育的ニーズの把握や支援に努めた。

### 3 評価

評価指標	いじめに係る未解決の件数、不登校の児童生徒数の割合
目標値 (平成30年度)	いじめに係る未解決の件数 小中学校ともに0件とする。 生徒指導上の諸問題の全国・広島県数値を小中学校とも下回る。
総合評価	B

平成30年度 いじめに係る未解決件数、不登校児童生徒数

区分	未解決件数	不登校児童生徒数 (割合)	H29 全国	H29 県
小学校	0件	2人 (0.25%)	0.54	0.59
中学校	0件	7人 (1.97%)	3.25	2.78

(全児童数：796名・全生徒数355名)

※ いじめは発生したが、未解決の件数は小中学校ともなかった。

※ 不登校数は、小中学校とも全国・広島県数値 (H29) を下回った。

### 4 改善策

- 組織的な生徒指導体制を構築し、諸課題の未然防止、早期発見・早期解決を図る。特に、中学校に生徒指導主事を人的措置し、生徒指導体制の充実・強化を図る。
- 生徒指導に関する基準を明確にし、毅然とした対応、共通理解に基づく対応等を推進するとともに、粘り強く丁寧に指導することで規範意識の内面化を図る。
- 児童生徒が発するSOSサインを見逃すことがないよう「いじめアンケート」や個別面談を丁寧に実施するとともに、児童生徒一人一人の悩みやストレスに対応できる相談体制の充実を図る。

## 平成30年度 点検評価票

中期経営目標	健やかな体の育成
短期経営目標	体力・運動能力の向上

### 1 短期経営目標（具体）

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。

### 2 取組・方策

#### (1) 学校教育活動全体での取組

体力づくりを体育・保健体育科の授業はもとより、総合的な学習の時間、特別活動、運動部活動、始業前、昼休み、放課後等の教育活動全体で取り組んだ。

#### (2) 調和のとれた体力向上

子供の健やかな成長のために「行動体力」と「防衛体力」をバランスよく向上させた。

#### (3) 体力・運動能力調査の実施

児童生徒の運動能力等を把握し、体力・運動能力調査結果を分析し、改善を図った。

### 3 評価

評価指標	「広島県新体力テスト調査」結果 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ボール投げ（中学校に「持久走」を加える）
目標値 (平成30年度)	(小) 県・全国調査の3小学校平均値以上とする。 (中) 県・全国調査の平均値以上とする。
総合評価	B

「平成30年度 広島県体力・運動能力調査」結果 小学校：72.5%、中学校：81.5%

学年	坂町	県（坂町比）	全国（坂町比）	備考（県平均未満）
小5 男子	59.68	56.96 (+3.32)	56.58 (+3.10)	
小5 女子	61.11	58.54 (+2.57)	57.61 (+3.50)	握力
中2 男子	48.00	44.79 (+3.21)	44.48 (+3.52)	ボール投げ
中2 女子	57.67	52.76 (+4.91)	51.84 (+5.83)	長座体前屈・ボール投げ

※ 小中学校とも目標値を上回った

### 4 改善策

- 引き続き、「体力向上推進リーダー」の教員1名を人的措置し、町内の3小学校を巡回しながら児童の体力向上及び体育科授業の実施・改善を図る。
- 新体力テストの実施前には、昨年度の自己記録と比較しながら個々の目標を設定するなど、児童生徒が意欲的に取り組めるよう工夫する。
- 児童生徒の発達段階等に応じて、運動の楽しさや喜びを感じさせることができるような指導を教育活動全体で工夫する。

## 平成30年度 点検評価票

<b>中期経営目標</b>	地域文化の保存、継承
<b>短期経営目標</b>	坂町の歴史や文化に対する理解と関心の醸成

### 1 短期経営目標（具体）

町民の郷土に対する歴史的理解を深めるとともに、後世へ文化を継承し、町民の文化意識の向上と町勢発展に努める。

### 2 具体的な取組・方策

(1) 坂町の文化・歴史に関心・意欲に関するアンケート調査の実施

平成30年度 上野城跡地見学会（1回）、平成29年度 坂町を知ろう（1回）、ようよう坂町ウォーキング（2回） 計3回のアンケートを実施した。

(2) 町内に史跡に案内看板を設置

平成30年度は、豪雨災害の影響により設置できなかった。平成31年度に設置する。

【設置予定場所】 恵美須社、姫宮社、住吉社、恵比須社、滝の明神社

(3) 坂町史について

新入教職員研修会や学校等にチラシを配布し、販売促進を図るとともに、広報に掲載し、発刊を周知した。〔自然編、通史（現代）・地理編、生活文化編、通史（考古～近代）編〕

【広報誌掲載分】

4月「六角御輿」生活文化編、5月「坂町の気候」現代・地理編、6月「オリンピック選手を輩出した坂町」通史（現代）・地理編、通史（考古～近代）編、7月「坂町の鳥類」自然編、8月「町制施行」通史（現代）・地理編、9月「沿岸国道の建設」通史（考古～近代）編、10月「坂町の動物・植物の方言」自然編、11月「横浜の漁業」通史（考古～近代）編、12月「坂町の水産業」通史（現代）・地理編、1月「坂地区の聞き取り」生活文化編、2月「横浜地区の聞き取り」生活文化編、3月「小屋浦地区の聞き取り」生活文化編

### 3 評価

<b>評価指標</b>	関心・意欲に関するアンケート調査
<b>目標値 （平成30年度）</b>	80%
<b>総合評価</b>	評価できない（災害の影響による）
○平成30年度は豪雨災害の影響により、町史を使った事業が行われておらず、アンケート調査が実施できなかったため評価が難しく、総合評価は行わないものとする。	

### 4 改善策

○歴史探索に関する事業において、若年層にも分かり易い事業を実施し、文化・歴史に関心・意欲に関するアンケート調査を実施する。

○町内の史跡等に案内板を設置し、郷土愛の醸成に努める。

○新年度入町教職員研修会や、様々な機会を通じて町史の普及に努める。

## 平成30年度 点検評価票

<b>中期経営目標</b>	生涯学習環境・生涯学習推進体制の充実
<b>短期経営目標</b>	図書館サービスの向上

### 1 短期経営目標（具体）

町民に必要とされる図書館を目指し、ニーズと時代の変化に対応しながら、町民の自主的な学習・文化・余暇活動を支援する。

### 2 取組・方策

- (1) 図書司書を中心に図書整備の充実  
 図書購入10ヵ年計画に基づき平成26年度末にて目標冊数6万冊を達成した。  
 [一般書43,222冊、児童書23,943冊、視聴覚資料2,050点]
- (2) 図書館こどもまつりの開催  
 ボランティアによる読み聞かせ、職場（図書サービス）体験、ミニ絵本づくり等を実施した。
- (3) 「図書館便り」を定期配信  
 子育てオープンスペース、子育て支援センター、保健センター等各関係施設及び町内の各保育園、小学校、中学校、高等学校に年代に応じた内容で定期的に配布した。
- (4) 定期的に読書ボランティアによる読みきかせを実施した。(2回/月)
- (5) 新着図書等の展示コーナーや特別展示を定期的に開催した。
- (6) 読書活動推進講座及び図書館利用講座を開催した。
- (7) 子ども司書養成講座へ参加した。
- (8) 町立図書館と学校の連携を図った。(図書館司書の学校訪問 各校1回/月)
- (9) 関係機関との連携を強化した。(保険健康課と連携、移動図書館を実施)
- (10) その他  
 ※豪雨災害による休館：7/17～8/2（計19日間）  
 ※台風等による途中休館：日数76日間

### 3 評価

<b>評価指標</b>	図書等貸出冊数
<b>目標値</b> (平成30年度)	59,600冊 (H29実績値対比1.3%増)
<b>総合評価</b>	評価できない(災害の影響による)

○貸出冊数：46,928冊

※災害のため施設周辺が被災し、図書館も町民の一時避難所及び留守家庭児童会施設として使用していたが影響している。

### 4 改善策

- 坂町子ども読書活動推進計画（第二次計画）に基づき、こども読書活動推進のため保険健康課と連携を図り、移動図書館を実施し、図書館に来館したくとも育児等によりできない方等が利用できるようなり取り組む。
- 館内展示、各種講座等、魅力的な事業の企画立案に努め、広報や図書館だより等による図書情報の発信を行っていく。

## 平成30年度 点検評価票

中期経営目標	生涯スポーツの推進
短期経営目標	生涯スポーツ社会の実現

### 1 短期経営目標（具体）

町民誰もが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指す。

### 2 取組・方策（各種教室・大会等（坂町悠々健康ウォーキング大会は除く））

#### （1）各種教室・大会等の情報発信

坂町広報誌へ体育協会関係の大会や大会結果等掲載した。

小学校を通じて水泳教室を案内した。

住民協へコミュニティスポーツ大会等の各世帯への案内を依頼した。

#### （2）各種事業の推進

○スポーツ推進委員・坂町体育協会等の協力のもと、各種行事を開催した。

スポーツキッズフェスティバル（1/20）、町内駅伝競走大会・コミュニティスポーツ大会（3/17）

○平成30年度は、豪雨災害により中止や無期延期になる事業があった。

【幼 児】親子ふれあい体操教室（中止）、幼児体操教室（中止）、水泳教室（中止）

【小学生】1年生水泳教室2、3年生水泳教室(中止)・スポーツキッズフェスティバル(実施)

【全町民】町内体育大会（無期延期）・町民会議球技大会（無期延期）

※B&G：豪雨災害による休館 7/7～12/31（179日間） 1月4日より再開

#### （3）月イチようよう坂町ウォーキング ※7月～10月は災害により中止した。

5/19 坂地区歴史探訪ウォーク（坂駅→八幡神社→正原池公園→勿条・中村→SunstarHall→坂駅）、6/24 坂町内 JR 駅めぐりウォーク（坂駅→水尻駅→べい付付びーち坂→小屋浦駅）、7/7 ナイトウォーク（中止）、12/16 天神堂ウォーク（坂駅→坂八幡神社→天神堂→坂駅）

### 3 評価

評価指標	各種事業への参加者を対象としたアンケート調査
目標値 （平成30年度）	87%
総合評価	評価できない（災害の影響による）

○豪雨災害により各種事業を中止したため調査を行うことができなかった。

○友遊サタデーでは、ラダーゲッターや身の回りの道具を使う新聞紙リレー・スリッパとばしゲームなど新たなレクリエーションゲームを取り入れ、新鮮な気持ちで軽スポーツの取り組めるよう、スポーツ推進委員と共に努めた。また、カローリング体験会を2回実施し、55名の参加者を集め、新たなレクリエーションスポーツの普及に努めた。

### 4 改善策

○評価指標の根拠となるアンケート調査について、一昨年度の内容を精査し、本調査の精度を上げることにより参加者の健康増進の一助となるよう事業内容の充実に努める。

○スポーツ推進委員へカローリング等、軽スポーツの普及活動の協力要請を行い、軽スポーツの普及に努める。

## 平成30年度 点検評価票

### 5 取組・方策（坂町悠々健康ウォーキング大会）

(1) 各種大会等の情報発信

テレビでの広報を1/19放送の「野々村真の広島魅力発見」にてPRした。

坂町広報誌への掲載、小中学校を通じての配付、個別（前回大会参加者）への案内、町内各施設でチラシ等を配布した。また、住民協へ各世帯への配布を依頼した。

(2) 第8回坂町悠々健康ウォーキング大会の開催（3/24）

参加費・協賛金の一部を坂町災害支援金に寄附するチャリティ大会として開催した。災害の影響により、新設した6km・2kmの2コースで開催した。

### 6 評価

評価指標	「坂町悠々健康ウォーキング大会」参加人数
目標値 (平成30年度)	1,200人
総合評価	B
<p>○坂町悠々健康ウォーキング大会では豪雨災害の影響により、10km、5kmの2コースが使用できなかったため、6kmコースを新設して開催した。</p> <p>○参加者の総合計は1,100人で、目標に達することができなかったが、参加された皆さんの笑顔を見て、微力ながらも、今後の復興に向けての一步となったのではないかと感じている。</p> <p>○町民の参加人数に不安があったが、650人という多くの参加をいただいた。</p>	

### 7 改善策

- 関係団体とも協議し、しっかりと対策を講じて大会の更なる充実に努める。
- スタート時間等を改善し、カキ雑炊での待ち時間短縮を図る。

## 平成30年度 点検評価票

<b>中期経営目標</b>	生涯学習施設の有効活用
<b>短期経営目標</b>	町民交流センターの活用促進

### 1 短期経営目標（具体）

町民に親しまれ、スポーツ・文化活動の交流拠点として広く活用されるよう、関係機関と連携・協力し、利用促進に努める。

### 2 取組・方策

#### （1）地域に密着した開かれたホール運営

町内外から広く誰もが気軽に利用できるよう、交流スペースの開放や明るいホール、音楽や子供向けDVDを常時放送するなど明るい雰囲気づくりに努めた。

#### （2）広報・PR・情報発信

HP等への掲載及び関係機関との連携を図り町内外への情報発信に努め、利用が見込まれる企業、学校関係のリストアップ行い、チラシやDMを配布し利用促進を図った。また、Facebookなどのソーシャルメディアを活用し、更なる利用促進を図った。

#### （3）各種イベントの開催

歌舞伎公演（6月9日：563人）、ピアノコンサート（2月16日：125人）、復興音楽祭（3月21日：550人）、復興祈念神楽（3月30日：750人）

#### （4）その他

※7/6日から9/14まで避難所として運営（71日間）

※9/15日から9月30日まで掃除等、貸出準備期間（10/1から再開）

※1階の会議室等は3/31日まで使用不可（269日間）（4/1日から再開）

### 3 評価

<b>評価指標</b>	施設利用人数
<b>目標値 （平成30年度）</b>	54,058人（H29実績値対比2%増）
<b>総合評価</b>	評価できない（災害の影響による）

○利用人数：42,142人

※災害の影響により、2ヶ月間地区の避難所として運用したほか、町民交流センター1階が被災してため利用できなかった。

### 4 改善策

○施設利用者等へのアンケートによるニーズ調査を実施し、H31主催事業として開催するイベントやコンサートなどに意見を反映し、より一層の施設利用者の増加を図る。



担当課	経営目標		取組・方策	評価指標	平成30年度			改善策	評価票頁
	中期	短期			目標値	実績値	評価		
学校教育課・生涯学習課	道徳心の高揚	礼節を基本とした教育の推進	(1)坂町道徳教育推進協議会の開催(7回/年) 考える・議論する道徳への授業改善を図った。 (2)児童生徒意識調査(2回/年) 道徳教育に関する児童生徒意識調査を実施した。	道徳教育意識調査	○道徳教育意識調査項目 ①自分のことについて考える。 ②困っている人を助ける。 ③時と場をわかまえての行動。 【3項目平均】 小:90.0%、中:90.0%	《肯定的回答》 小:92.4% 中:96.0%	B	○発達段階を踏まえた丁寧な指導、信頼関係に基づいた指導を実践する。 ○学校・家庭・地域との連携・協力を大切にするとともに、情報発信及び相互交流の場を設定する。	12
	豊かな心の育成	家族愛・郷土愛の醸成	(1)坂町道徳教育推進協議会の開催(7回/年) 家庭や地域との共通理解を深めた授業を工夫した。 (2)主体的な学びアンケート(2回/年) 児童生徒を対象とした意識調査を実施した。 (3)地域に開かれた教育課程 人的・物的資源を活用した学校教育を実現させた。 (4)主体的な地域行事への参加 児童生徒が主体的に地域行事に参加した。	主体的な学びアンケート	○主体的な学びアンケート 「自分で課題を立て、解決方法を考え発表している。」 【小3~中3】 小:85.0%、中:85.0%	《肯定的回答》 小:91.2% 中:92.4%	B	○坂町道徳教育推進協議会の充実化を図り、坂町の道徳教育を推進する。 ○「人権教育総合推進地域事業」(国)の指定を活用した取組を充実させる。 ○体験的な学習を適切に取り入れる指導方法を工夫する。	13
学校教育	確かな学力の育成	基礎的・基本的な知識・技能の定着	(1)「学びの礎7」 「坂町授業システム」による授業展開を計画した。 (2)坂町教育フォーラムの開催(2回/年) 全教員で共通理解を図り、坂町教育に取り組んだ。 (3)積極的な授業改善 分析・共通課題による積極的な授業改善を行った。 ①全国学力・学習状況調査 (小6:国・算・理、中3:国・数・理) ②坂町標準学力調査(小5、中2) ③外国語活動、教科に係る意識調査	H30全国学力学習状況調査	○全教科:全国平均を5ポイント以上	《全国平均比》 【小】国:A(+7)B(+9)、算:A(+7)B(+6)、理:(+10) 【中】国:A(+3)B(+1)、数:A(-1)B(+0)、理:(+5)	B	○保幼小中連携を密に行い、円滑な接続から個に応じたきめ細かな指導に努め、定着を図る。 ○「幼保小連携教育の推進事業」(県)の指定を活用した取組の充実を図る。 ○小学校では、習熟度別指導等を効果的に活用し、基礎・基本の定着を図る。 ○中学校では、丁寧な課題把握と個に応じたきめ細かな指導を組織的に行う。	14・15
				H30坂町標準学力調査	○全教科:目標値以上	《目標値比》 【小】国:(+9.8)、算:(+5.7) 理:(+7.2) 【中】国:(+5.3)、社:(-1.2) 数:(-4.0)、理:(-2.7)、英:(-4.6)			
				外国語活動教科に係る意識調査	○意識調査(外国語) 小:83.0%、中:80.0%	《肯定的回答》 小:87.9% 中:81.5%			
	生徒指導体制の確立	積極的な生徒指導の充実	(1)坂町生徒指導連絡協議会(10回/年) 共通理解及び生徒指導体制の機能化に努めた。 (2)児童生徒の欠席状況調査(1回/月) 欠席状況を把握し、早期対応を図った。 (3)いじめアンケートの実施(3回/年) 早期発見、対応に努め、教育相談の充実を図った。 (4)教育相談による支援活動の充実 教育相談の充実を図り、支援した。	いじめに係る未解決の件数	○未解決件数 小:0件、中:0件	《未解決の件数》 小:0件、中:0件	B	○組織的な生徒指導体制を構築する。特に、中学校に人的措置し、生徒指導体制の充実・強化を図る。 ○生徒指導基準を明確にし、共通理解に基づく対応等を推進する。規範意識の内面化を図る。 ○児童生徒のSOSを見逃すことがない取組の充実を図るとともに、相談体制の充実を努める。	16
	健やかな体の育成	体力・運動能力の向上	新体力テスト調査結果(全国・県)	○調査結果(全国・広島県との比較) 小中学校とも下回る。 小:H29 全国0.54%、県0.59% 中:H29 全国3.25%、県2.78%	《全国・広島県調査結果》 【坂町】いずれも下回った。 小:0.25% 中:1.97%				
	健やかな体の育成	体力・運動能力の向上	(1)学校教育活動全体での取組 体力づくりを全ての教育活動で取り組んだ。 (2)調和のとれた体力向上 行動体力と防衛体力をバランスよく向上させた。 (3)体力・運動能力調査の実施 体力・運動能力調査結果を分析し、改善を図った。	新体力テスト調査結果(全国・県)	○体力・運動能力調査(全国・広島県との比較) 小:平均値以上(3校平均) 中:平均値以上	《全国(H29)》《県(H30)》 【坂町】調査結果を比較 小:平均値以上 中:平均値以上	B	○体力向上推進リーダーを人的措置し、町内小学校の体力向上及び体育科授業の実施・改善を図る。 ○新体力テストに児童生徒が意欲的に取り組めるよう工夫する。 ○発達段階等に応じて、運動の楽しさや喜びを感じさせる指導を教育活動全体で工夫する。	17

平成 30 年度 坂町教育委員会 事務点検・評価報告書一覧

担当課	経営目標		取組・方策	評価指標	平成 30 年度			改善策	評価票頁
	中期	短期			目標値	実績値	評価		
生涯学習課	地域文化の保存、継承	坂町の歴史や文化に対する理解と関心の醸成	(1)坂町文化・歴史に関するアンケート調査の実施 上野城跡地見学会、坂町を知ろう、ようよう坂町ウォーキングで実施した。 (2)町内に史跡に案内看板を設置 平成 30 年度は、豪雨災害の影響により設置できなかった。平成 31 年度に設置する。 (3)坂町史について 販売促進を図るとともに、広報に掲載し、発刊を周知した。	案内看板設置	5 基	0 基 (被災のため)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史探索に関する事業において、若年層にも分かり易い事業を実施し、文化・歴史に関心・意欲に関するアンケート調査を実施する。</li> <li>○ 史跡に案内板を設置し、郷土愛の醸成に努める。</li> <li>○ 新年度入町教職員研修会や、様々な機会を通じて町史の普及に努める。</li> </ul>	18
	生涯学習環境、生涯学習推進体制の充実	図書館サービスの向上	(1)図書司書を中心に図書整備の充実 (2)図書館こどもまつりの開催 (3)「図書館便り」を定期配信 (4)読書ボランティアの読みきかせ実施 (2 回/月) (5)展示コーナーや特別展示を定期的に開催 (6)読書活動推進講座及び図書館利用講座を開催 (7)子ども司書養成講座への参加 (8)図書館と学校の連携 (図書館司書の学校訪問) (9)関係機関との連携を強化	図書等貸出冊数	59,600 冊	貸出冊数：46,928 冊 ※ 災害のため施設周辺が被災し、図書館も町民の一時避難所及び留守家庭児童会施設として使用していたが影響している。 ※ 休館日：19 日間 ※ 途中休館日：76 日間			
	生涯スポーツの推進	生涯スポーツ社会の実現	(1)各種教室・大会等の情報発信 広報誌へ大会結果等を掲載した。小学校や住民協を通して教室・大会等を案内した。 (2)各種事業の推進 多くの事業が、災害のため中止となった。 (3)月イチようよう坂町ウォーキング 実施できたワークは、坂地区歴史探訪ワーク、坂町内 JR 駅めぐりワーク、天神堂ワークであった。	アンケート調査 (関心・意欲)	平均 87%	平成 30 年度は、災害の影響により、アンケート調査が実施できなかった。 軽スポーツの取組の充実に努めた。また、カローリング体験会を普及に努めた。	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○評価指標の根拠となるアンケート調査について、一昨年度の内容を精査し、本調査の精度を上げることにより参加者の健康増進の一助となるよう事業内容の充実に努める。</li> <li>○スポーツ推進委員へカローリング等、軽スポーツの普及活動の協力要請を行い、軽スポーツの普及に努める。</li> </ul>	20
		(1)各種大会等の情報発信 テレビでの広報を活用し、PR した。広報誌への掲載、小中学校や各施設、住民協に協力依頼した。 (2)悠々健康ウォーキング大会の開催 (3/24) チャリティ大会として開催した。災害の影響により、新設した 6km・2km の 2 コースで開催した。	参加人数	1,200 人	参加人数：1,100 人 (町民参加人数：内 650 人)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係団体とも協議し、しっかりと対策を講じて大会の更なる充実に努める。</li> <li>○スタート時間等を改善し、カキ雑炊での待ち時間短縮を図る</li> </ul>	21	
	生涯学習施設の有効活用	町民交流センターの活用促進	(1)地域に密着した開かれたホール運営 町内外から広く誰もが気軽に利用できるよう、音楽、DVD 等で明るい雰囲気づくりに努めた。 (2)広報・PR・情報発信 HP の掲載、リストアップによる広報活動の充実に努め、ソーシャルメディアを活用し、更なる利用促進を図った。 (3)各種イベントの開催 歌舞伎公演、ピアノコンサート、復興音楽祭、復興祈念神楽	施設利用人数	54,058 人	利用人数：42,142 人 ※ 避難所：71 日間 ※ 掃除等 (10/1 から再開) ※ 1 階会議室等：269 日間	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設利用者等へのアンケートによるニーズ調査を実施し、H31 主催事業として開催するイベントやコンサートなどに意見を反映し、より一層の施設利用者の増加を図る。</li> </ul>	22